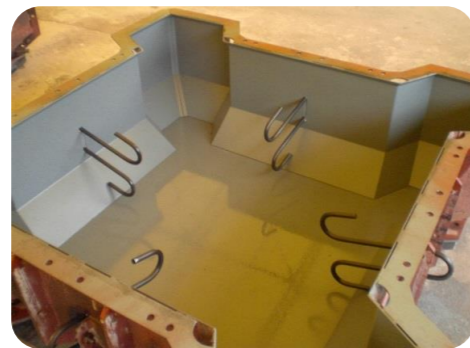




※ BPN2種有機溶剤です。
塗装基準に沿ってご使用願います。

型枠内面強化工法についての問い合わせ

- ① 下記連絡先又は、型枠メーカーにお問い合わせください。
- ② 設備のない整備工場では利用できない場合があります。
- ③ 現場での加工はできません。



型枠内面強化工法

錆の抑制・ケレン・補修作業の低減

OKAGAKI

岡垣興業 株式会社 〒822-0152 福岡県 宮若市 沼口 1367-1
TEL 0949-52-2516 FAX 0949-52-2529
E-mail: mail.wh@okagaki.biz
http://www.okagaki.biz

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System
登録番号 QSK-140003-A

施工期間中、型枠が錆びて製品に転写したことはありませんか？

鋼製型枠によるブロック施工期間中、降雨、台風、結露、沿岸部作業の潮風、工事休業時等に、型枠の内面に錆が発生し、製品に転写することがあります。この際、型枠内面のケレン作業や、錆が転写したブロックの補修などに、多くの時間を費やす事になります。型枠内面強化工法は型枠内面に特殊コートすることで、施工期間中の錆を抑制し、**ケレンや補修作業を低減**します。

製品に転写した錆は簡単には取れません。



従来整備をした製品
(錆が発生し転写)



補修手間が発生



型枠内面強化工法使用製品

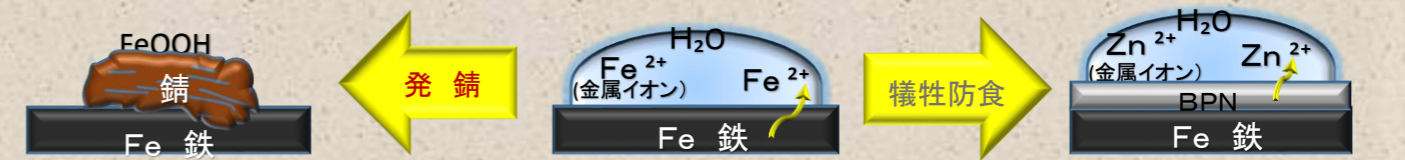


こんなとき！

- ① 長期防食を可能とし、飛来塩分の多い海岸付近、台風、梅雨時期等の型枠内面の**錆を抑制**します。
- ② 工期中の中断期(GW・盆・正月・雨季・台風など)の現場型枠**保管が容易**になります。
- ③ 工期中に発生する錆が抑制されることで、製品への転写補修や型枠の清掃等の**作業手間が軽減**され、**美観の良いブロック**が製作できます。
- ④ 現場打設時に塗布される剥離剤(=離型剤)は昨今様々な種類があり、品種によっては、従来の内面防錆剤(クリア)を溶解し剥離してしまうものもあります。BPNは**耐油性にも優れ**ています。

BPNのメカニズム

鉄・水・酸素が電気化学反応を引き起こし、鉄イオンが溶け出す。その反応が進むと錆(FeOOH)が発生する。

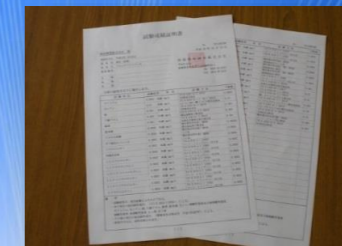


BPNに含まれるZnは鉄に比べてイオン化傾向が大きい金属であり、Znが犠牲になって鉄の腐食を抑制する。

各種試験を実施！

ブロック施工の際、生コン投入時、パイプレータ作業、脱枠作業時に摩擦や衝撃でBPNのコートが剥がれ、ブロックに付着する事がありますが、環境や生態系に影響するものではありません。

BPNは環境分析機関において、省庁基準の溶出試験に合格しております。また、乾燥・硬化・密着・剥離・暴露・曲げ・アルカリ・パテ剤試験なども実施しております。



剥離剤の影響について！



剥離剤でクリアが溶解し転写

一般的に使用されているクリア(型枠内面防錆剤)は耐油性・耐薬品性・耐アルカリ性に弱く、打設時に使用される剥離剤によって溶解することがテストの結果解っています。昨今剥離剤の種類も増え、その性質や機能も様々です。(油性・水性・化学反応型・高粘度・低粘度タイプ等々...) 全てに対応できるわけではありませんが、BPNはクリアに比べ耐性に強く、一般的には溶解することはありません。

※ 剥離剤は揮発性を含まない高粘度タイプをご使用願います。

※ BPN使用時の剥離剤は **OG-2** を推奨します。(脱型後のケレンが容易になります。)